

# 成田の舞台裏

普段何げなく利用している施設やサービス。その裏側では、どのようなことが行われているのでしょうか。ここでは、普段は見るできない成田のさまざまな舞台裏を紹介します。

## 第11回 麻薬探知犬訓練センター ～全国で活躍する犬が成田で育つ～

全国の空港や港などで活躍する麻薬探知犬。その麻薬探知犬を育成する国内唯一の施設が本市に存在しています。今回は「麻薬探知犬訓練センター」の舞台裏を紹介します。

およそ4カ月間にわたり行われる訓練で、犬は麻薬のにおいを覚え、スーツケースや段ボール箱などに隠されていても麻薬を発見できる能力を身に付けます。訓練を通して重要な道具が、ダミーと呼ばれるタオルを棒状に巻いたおもちゃ。訓練当初は麻薬のにおいを染み込ませたダミーを使って遊ぶことで、そのにおいを覚えさせます。犬が楽しく遊べるようにさまざまな工夫をしていて、その一つがダミーの大きさを犬の好みに合わせる。口の大きさなどに合わせて、かみ心地の良い物を施設内で手作りしています。また、訓練中に麻薬のにおいを見つけた時は犬をよく褒め、全力で楽しませます。「ダミーを見つけると人間が遊んでくれる」と覚えさせることで、犬は麻薬のにおいを一生懸命に探すようになります。

敷地内には、実際に麻薬探知犬が活躍する現場さながらの設備が整っています。例えば、到着した空港で荷物を受け取るターンテーブル。ベルトコンベヤーに載せて大きな荷物を動かすことができます。また、船に乗る時に架けられるタラップと呼ばれる階段もあります。このような設備がそろっているのは、現場の環境に慣れさせるため。犬は初めて見る物があつたり聞き慣れない音がしたりすると、能力を十分に発揮できないことがあります。そのようなことがないように、あらゆる環境に対応するための設備が整えられています。

こうして施設内で必要な能力を養った犬のうち、約3割が麻薬探知犬として認定され、空港や港といった人流・物流の要所に向かいます。現場で活躍するまでの舞台裏には、犬が麻薬を発見する能力を身に付けるための工夫と設備がありました。



- ①乗船時に使うタラップを再現した階段も
- ②ダミーを使って遊びながら信頼関係を築く
- ③候補犬ハナ号は雪の日も元気いっぱい

### 能力を最大限に引き出すために

麻薬探知犬訓練センター 監視官 きたむら こうたろう 北村 幸太郎さん

犬は人間の言葉が通じないため、信頼を得るには細かいしぐさを読み取るなど工夫が必要です。また、段階を踏んで訓練を繰り返し、少しずつ能力を引き出す必要があり、苦労も多くあります。しかし、犬が喜びにあふれる動きを表現してくれた時や、何より麻薬探知犬として認定された時は、愛情をかけて接している分とてもやりがいを感じます。



### 舞台裏の様子をYouTubeでも

右のQRコードから成田市公式YouTubeチャンネルにアクセスして、スマートフォンやタブレットなどから、取材の際に撮影した動画やスライドショーを見ることができます。



成田市公式  
YouTubeチャンネル

### 編集後記

立春を過ぎ、暦の上では春を迎えましたがまだまだ寒い日が続き、春の陽気待ち遠しいです。この時期になると、通勤などで受験生を多く見かけます。受験生やその家族は不安な日々が続いていると思いますが、大切なのは自分の力を信じること。昨年に行われたサッカーワールドカップでは日本中が感動と勇気に包まれ、諦めないことの大切さを教えてもらいました。受験生の皆さんも、最後まで自分の力を信じ抜いて、持っている力を発揮できることをお祈りしています。

令和5年2月15日号 No.1477

成田市のホームページ

<https://www.city.narita.chiba.jp>

\*QRコードは簡デンスウェブの登録商標です

\*本紙は2月7日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください。



### リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。